

研究課題名	mpMRIを前立腺針生検施行前に施行することの有用性に関する研究
研究機関名	(主) 東京大学医科学研究所 (分担) 武蔵野赤十字病院
研究責任者	東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 先端がん治療分野 特任研究員 竹島 雄太
情報提供責任者	武蔵野赤十字病院 泌尿器科 部長 田中 良典
研究期間	(西暦) 2019年 4月 ～ 2021年 3月
研究の意義・目的	前立腺がんの罹患者数が増加するとともに、前立腺がんの過剰診断・過剰治療が課題として浮上してきています。近年のMRI技術の発達により、前立腺針生検という侵襲的な処置を行う前に前立腺がんの存在確率について情報が得られるようになりました。MRIの所見と前立腺生検の陽性率(前立腺がんが見つかった確率)を解析することにより、本研究を通して将来的に不要な前立腺生検を回避できればと考えております。
研究の方法 (対象期間含む)	2016年12月から2019年3月までに当院でMRIを施行され、その後前立腺生検を行った患者様が対象となります。 性別、年齢、初診日、生検実施日の他、血液検査データ、画像検査所見、病理結果について既存のカルテ情報を調査します。得られたデータをもとに、MRIがどれだけ正確に前立腺がんの存在を予測しているか、統計学的に解析・検討いたします。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	①収集された診療情報は、匿名化(名前・IDなどを削除)した上で、東京大学医科学研究所から持ち出し禁止のパソコンに移送・保存され、試験終了後に統計解析を行います。 ②利用する診療情報は上記の通り性別、年齢、初診日、生検実施日の他、血液検査データ、画像検査所見、病理結果となります。 ③診療データは研究責任者及び情報提供責任者のみが使用し、他施設やほかの研究者に提供されることはありません。 ④情報管理の責任者は以下の通りです。 武蔵野赤十字病院にて：情報提供責任者 田中 良典 東京大学医科学研究所にて：研究責任者 竹島 雄太
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 泌尿器科 氏名 田中 良典 TEL：0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX：0422-32-3525